おおむら＼ニュース／

7/22 国道34号拡幅や整備促進を

国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会要望活動

国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会は、九州地方整備局と長崎河川国道事務所に対し、国道34号大村諫早拡幅をはじめとする市内幹線道路の整備促進などに関する要望活動を行いました。国土強靱化において重要な役割を担っている国道34号大村諫早拡幅の早期整備や来年度予算確保、地方整備局の体制強化などを強く要望しました。

7/23～28 SG競走8大会を全制覇

SG第29回オーシャンカップ

「SGオーシャンカップ」をボートレース大村で初めて開催しました。これにより、SG競走8大会全て開催したこととなり、史上2場目の快挙を達成。レース期間中は、多彩なゲストによるイベントも行われ、全国から2万6,913人のファンの皆さんが来場し、売り上げは177億6,821万7,100円を記録しました。

7/24 防災・減災、国土強靱化のため

国道34号等の整備促進に向けた要望活動

国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会は、国土交通省、財務省、県選出国会議員などに対して、国道34号大村諫早拡幅をはじめとする市内幹線道路の整備促進について要望活動を行いました。県央地域の経済活性化・発展を推進するために重要な路線であることなどを強調し、防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策に必要な予算の確保や早期整備を要望しました。

7/31 災害時に動くレスキューホテル

災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定締結

本市は市内でコンテナホテルを運営する株式会社デベロップと、県内で初めて「災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定」を締結しました。この協定は、地震や風水害などによる大規模災害が発生した際、通常ホテルとして運営されている客室が、速やかにレスキューホテルとして市へ優先的に提供されるものです。